

第46回運動会 6月7日(水)

6月7日、雨の影響で延期になっていた運動会を無事に開催することができました。

今年度は仮設体育館建設工事の影響でグラウンドを全面使用することができず、競技の規模を縮小したかたちでの開催でした。しかし、そんなことを感じさせないほど子どもたちは一生懸命競技に打ち込み、応援することができていました。



運動会入場門

実は、今回の運動会で使われた入場門は、美術部の生徒によってリニューアルしました。今年度は、規模を縮小しての実施だったので入場門のみの設置でしたが、「縮小の中だけ運動会が明るい雰囲気になってほしい」という願いを込め、従来のものよりも色のトーンを明るく塗り直しました。

道徳授業地区公開講座 5月13日(土)

5月13日、全学年対象に「人が互いに支え合って生きていくことの大切さを理解し、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる」を主題に設定し、道徳の授業を行いました。それぞれの学年が命の大切さについて触れ、真剣に向き合っていました。

昨年度と違い、今回は保護者や地域の方々に参観していただくことができました。どの学年のフロアも参観される方でいっぱいでした。

道徳の授業後は、学年別3ブロックに分かれて、教員・保護者・地域の方が道徳教育について意見を交換しました。



こんな意見が出ました！ (意見交換会より 保護者・地域の方々のご意見)

【1学年】 教材：「決断！骨髄バンク移植第一号」

「内容がすばらしく涙しました。命をテーマに子どもと話せない・教えられていないので、学校で命をテーマに授業をしてくれて良かった。」

「答えを提示するのではなく、様々な考えがある、答えを生徒自身に考えさせる型の授業で良かった。」

「家でもっと子どもを愛してあげたいと思った。」

【2学年】 教材：「奇跡の一週間」

「命のことについての話は家庭では避けがち。」「今日のことを家でも話題にしたい。」

「もっと生徒同士で話し合い、考えを深められるよう、発問を精査したり、座席を工夫してほしい。」

「家庭では、『死ね』などの言葉について、『たおす』などの言葉に置き換えたり、(言ってもいいけど)相手に伝えちゃいけないよ。と伝えたりしている。」

【3学年】 教材：「人間の命とは」

「様々な立場になって考えることが成長の過程で大切で、大人になった時に自分の意見がもてるようになると良い。」

「生徒が教員のパワーで生き生きしていた。」

「答えを出すのではなく心を広げる授業で良かった。」